

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-5-2 人材の育成・定着
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	雇用政策課長 得能昌信	電話番号	0852-22-5296
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	在職者の職業訓練事業		
目的	(1) 対象	在職労働者	
	(2) 意図	職業能力や技能の向上を図る。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 従業員等の職業能力の開発及び向上を図るため、認定訓練校に対して運営費や設備経費の一部を補助。 高度な技能の習得及び中小企業の人材育成を支援するため、中小企業従業員に対し、産業人スキルアップセミナー、オーダーメイド型人材育成支援等を実施。 技術革新に対応した付加価値の高い製品の製造や、次世代技術に対応できる中小企業の技術者を養成するための研修を実施する。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 認定訓練校における訓練生数	目標値		1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	人
		取組目標値						
	式・定義 認定訓練校における訓練生数	実績値	780.0					
		達成率	—	—	—	—	—	%
2	指標名 県が実施する人材育成研修の受講企業数	目標値	720.0	740.0	760.0	780.0	800.0	社
		取組目標値						
	式・定義 県が実施する人材育成研修の受講企業数	実績値	693.0					
		達成率	96.3	—	—	—	—	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	62,930	66,845
うち一般財源(千円)	45,920	34,512

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 認定職業訓練施設 8施設 94コース 780人
- 中小企業中核技術者育成事業 19講座 346人
- 人材育成研修受講企業数 693

6. 成果があったこと(改善されたこと)

- 中小企業中核技術者育成事業において、設計信頼性、品質管理、食品製造、3DCAD、電子制御、鋳鉄材料技術の分野で専門的な研修を前年度より2講座多い19講座実施。前年度参加者262人(17講座)を大きく上回る346人の参加を得ることができた。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- 技術を必要とする職において人材確保が困難な状況であり、企業における課題となっている

②困っている状況が発生している「原因」

- 既存事業量の増、団塊世代の退職、採用後の離職(定着率低下)など

③原因を解消するための「課題」

- 新卒採用計画の充足
- 在職者のスキルアップ

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 中小企業中核技術者育成事業において受講者数の顕著な伸びがあった。今後も県内企業の技術力向上などに資するニーズの高い研修を実施していく。
- 人的、財務的な理由により在職者訓練に職員を派遣できない、あるいは自社でのOJTに人員を割くことができない企業への支援を充実させる。

課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)